



## 2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	農業新技術の開発は、多大な経費や専門的な知識、設備が必要となり、様々なリスクを伴うため、生産者が全て行うことは不可能である。県内生産者の生産技術水準の向上を図り、地域振興を農業技術の面からリードするためにも公設試験研究機関で実施すべきである。 林業新技術の開発には、多大な経費と期間及び専門的な知識、設備が必要となるため、森林所有者等が行うことには限界がある。また、研究対象である森林には、多面的な公益的機能があり、これの高度発揮を図るための試験研究は、県が実施すべきである。 水産新技術の開発・普及は、広域的な調査の実施が必要なこと、高度な技術、設備等が必要なこと、取り組む課題が水産業全体の幅広い分野であること、調査研究結果が公共性の高いものであることから県が実施すべきである。				
高い							
成果指標A		説明	生産現場に直結する技術開発や品種育成が進んでおり、目標は概ね順調に達成している。また、各農林水産研究所で開発された技術は、普及指導機関・家畜保健衛生所等を通じて普及を図っている。 一方、生産現場から求められる新技術は、社会環境の変化によって高度化しているため、現場の課題に柔軟に対応するとともに、生産者への普及定着まで考慮した技術開発に取り組むことにより、成果の向上余地はある。 また、大学や関係機関との連携を図ることにより、効率的かつ効果的な試験研究に取り組むことにより、さらに迅速に生産現場への技術浸透を図っていくことが可能と考える。				
成果動向	順調・向上						
成果向上余地	成果向上が可能						
成果指標B		説明					
成果動向							
成果向上余地							
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.30	順調・向上	成果向上余地	1.75	成果向上が可能	

今後予測される環境変化	平成17年から導入した試験研究課題の外部評価制度や平成20年度の試験研究機関再編を踏まえ、生産現場の課題に対応しながら体系的に試験研究課題を設定し、効率的かつ効果的な試験研究を推進する必要がある。 また、試験研究に対する国の補助が、公募型の競争的資金となっていることから、採択確保のため応募課題のブラッシュアップや国、企業や大学等との積極的な連携、学会及び論文投稿の励行による研究機関・研究者の信頼度や知名度を向上させていく必要がある。
-------------	---

## 3 施策の今後の方向性

<p>農業分野では、概ね順調に試験研究課題への対応や開発された成果の普及を進めており、新品種、新技術の面積も増加の見込みである。 今後とも、多様な消費者ニーズに対応できる競争力のある地域農業を確立するため、高付加価値化、低コスト化、省力化等を可能にする新技術の研究・開発に地道に取り組むとともに、愛媛の農業を支える新品種や特許などの知的財産の取得、新しい栽培技術の開発など、産官学の連携を一層強化しながら効果的な試験研究を進めていく必要がある。</p> <p>林業分野では、地球温暖化等に対応した森林の環境形成機能の解明や厳しい経営が続く林業・木材産業からの低コスト・省力化等に向けた新技術や県産材への需要拡大を図るため、地域の抱える課題への対応や加工利用技術の開発に取り組んでいく必要がある。</p> <p>水産分野では、本県水産業を支えていくために、消費者の多様なニーズへの対応、水産物のブランド化による付加価値の向上、資源の合理的利用や効果的な漁獲など、持続的漁業生産体制の確立につながる研究・開発を継続して取り組んでいく他、アコヤガイへい死対策など緊急を要する課題についても臨機応変に対応していく必要がある。</p> <p>一方で、厳しい財政状況に対応するため、常に農林水産研究所の運営費や研究・調査内容を見直しながら効率的な運営を図るとともに、国・大学・企業等との連携を強化し国等の競争的資金の活用を積極的に進めていく。</p>
---

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

										予算施策名		ns07	農林水産新技術の開発・普及					
1	普及組織先導型戦略的産地づくり推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価 見直し方向性	成果動向	4成果順調である	向上余地	3大きく成果向上する
	指標種類1	指標名称1	単位	計画	10000	10000	10000	9000	9000	事業費計	12,500	12,500	12,500		11,250	ハード事業による革新的技術導入は、閉鎖型育苗施設等の導入技術が他の生産者に波及するなど、成果が上がっている。市場調査等は、新型コロナウイルス感染拡大により、首都圏での実施は制限されているが、オンライン研修で代替しており、普及指導員の流通・販売の資質は向上している。		
	成果	+	70-	ハード事業交付金交付額	千円	実績	9676	9539	9986	国費								
						達成率	96.76%	95.39%	99.86%	その他								
	指標種類2	指標名称2	単位	計画	2	2	2	2	2	事業費計	12,500	12,500	12,500		11,250			
	成果	+	70-	流通研修実施回数	回	実績	2	2	5	国費								
						達成率	100.00%	100.00%	250.00%	その他								
	指標種類3	指標名称3	単位	計画	10	10	10	10	10	事業費計	12,100	9,825	11,074					
	成果	+	70-	市場調査研究実施回数	回	実績	9	0	3	国費								
						達成率	90.00%	0.00%	30.00%	その他								
実施期間	初期	終期	事業の概要						人役	0.3	0.4	0.4						
	R元	R4	高い技術力を持つ農業者が行う先進的技術導入への支援等を普及組織が先導し、農業者と連携しながら行うことで、産地づくりの推進を図る。						人件費	2,042	2,707	2,420						
2	農業試験分析機器等整備費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価 見直し方向性	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり
	指標種類1	指標名称1	単位	計画	8250	172	630	700	-	事業費計	37,640	5,396	15,818		26,376	研究に必要な分析機器等の整備であることから、研究に不可欠であり品種育成や病害防除研究、栽培試験研究等に有効に活用されている。		
	成果	+	70-	分析点数(使用回数)	点	実績	9930	550	691	国費	37,640	5,396	15,818		26,376			
						達成率	120.36%	319.77%	109.68%	その他								
	指標種類2	指標名称2	単位	計画	100	100	100	100	-	事業費計	29,636	3,993	14,917					
	活動	+	70-	分析機器整備実施率	%	実績	100	100	100	国費	29,636	3,993	14,917					
						達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他								
	指標種類3	指標名称3	単位	計画						事業費計	29,636	3,993	14,917					
						実績				国費								
						達成率	-	-	-	その他								
実施期間	初期	終期	事業の概要						人役	0.5	0.5	0.5						
	H21	予定・見込があれば記入	電源立地地域において、高品質で安定した農作物生産に資する試験研究やその成果を普及するために必要となる機器、設備の導入を促進し、試験研究、普及指導等の効率化、高度化を図り、農家所得の向上、地域農業の活性化につなげる。						人件費	3,403	3,383	3,025						
3	水産試験分析機器等整備費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価 見直し方向性	成果動向	4成果順調である	向上余地	1成果向上余地が小さい
	指標種類1	指標名称1	単位	計画	60	60	60	60		事業費計	16,154	9,908	3,044		24,706	研究に必要な分析機器等の整備であることから、研究に不可欠であり品種育成や病害防除研究、栽培試験研究等に有効に活用されている。		
	活動	+	70-	調査頻度	式	実績	60	60	60	国費	16,154	9,908	3,044		24,706			
						達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他								
	指標種類2	指標名称2	単位	計画	395					事業費計	15,917	9,867	3,036					
	成果	+	70-	種苗生産数	千尾	実績	526			国費	15,917	9,867	3,036					
						達成率	133.16%	-	-	その他								
	指標種類3	指標名称3	単位	計画	3	3	3	4		事業費計	15,917	9,867	3,036					
						実績	3	3	1	国費								
						達成率	100.00%	100.00%	33.33%	その他								
実施期間	初期	終期	事業の概要						人役	0.2	0.2	0.2						
	H25	予定・見込があれば記入	地域の産業の近代化及び活性化のための事業、地域の産業関連技術の振興のための事業を対象として水産試験分析機器等を整備する。						人件費	1,362	1,354	1,210						

4 リアルタイム農業普及指導ネットワーク構築事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり		
指標種類1	指標名称1	単位	計画		0	130	480	1200	事業費計	0	23,476	20,890	17,762	評価	通信を通して課題の把握に努め、システムの開発に活かしており、計画通り進んでいる。			
成果	+	70-	実績		0	136		国費			8,546	9,729	8,699					
			達成率			104.62%		その他										
指標種類2	指標名称2	単位	計画		78	312	408	600	事業費計	0	0	19,529	見直し方向性				方向1 このまま継続 方向2 方向3	
活動	+	70-	実績		102	310		国費				9,413						
			達成率		130.77%	99.36%		その他										
指標種類3	指標名称3	単位	計画						事業費計			10,116		人役	0.7			
			実績					国費										
			達成率					その他										
実施期間	初期	終期	事業の概要					人件費			4,737							
R2	R6		生産現場で技術指導をしている普及指導員等と、県下の農業指導機関(病虫害防除所・農林水産研究所等)を高画質な映像等で結び、複数の専門家の助言による高いレベルの診断をリアルタイムに行えるシステムを、普及指導員の指導活動を通して開発、実用化する。															

5 有機農業推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R12)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり		
指標種類1	指標名称1	単位	計画	18	18	18	18	事業費計	3,968	3,958	5,779	0	評価	取組面積の減少は、応急防除による一時的な減少であり、農業者数には増加がみられる。今後もみどりの食料システム法に基づく認定制度、環境直交付金、有機JAS認証指導員育成、有機農業転換支援事業等の制度活用、市町、農業団体等との連携を図りながら、面積拡大を目指す。				
活動	+	70-	実績	6	8	10			国費	1,500	1,505	2,126						
			達成率	33.33%	44.44%	55.56%			その他	1,500	1,500	2,700						
指標種類2	指標名称2	単位	計画	450	450	480	830	事業費計	2,873	2,612	2,592	見直し方向性				方向1 統合 方向2 方向3		
成果	+	70-	実績	491	471	458.9			国費	1,239	1,214						967	
			達成率	109.11%	104.67%	95.60%			その他	1,239	1,300						1,575	
指標種類3	指標名称3	単位	計画					事業費計			50		人役	1.8				
			実績						国費									
			達成率						その他									
実施期間	初期	終期	事業の概要					人件費	12,251	12,179	10,890							
H20	H21		H18年12月に有機農業の推進に関する法律され、20年3月に策定し、R3年3月に改定された県推進計画に見込が基づき、有機農産物の技術開発、生産・流通の拡大、農産物の信頼確保、有機農業に対する理解の増進に取り組む。															

6 ドローン防除農業適用拡大普及事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R3)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり		
指標種類1	指標名称1	単位	計画	3	3	3	3	事業費計	5,243	4,101	4,101	0	評価	セミナーの開催により、ドローン防除の有効性及び課題について理解が深まった他、薬効・薬害試験において、対象害虫に対し1,000倍を手散布する慣行散布と同等の防除効果が認められ、茎葉と果実に対する薬害も認められなかった。				
活動	+	70-	実績	3	1	1			国費									
			達成率	100.00%	33.33%	33.33%			その他	3,232	1,702	1,702						
指標種類2	指標名称2	単位	計画	3	3	3	3	事業費計	2,032	807	1,615	見直し方向性				方向1 このまま継続 方向2 方向3		
活動	+	70-	実績	3	2	1			国費									
			達成率	100.00%	66.67%	33.33%			その他	1,018	807						409	
指標種類3	指標名称3	単位	計画	0	2	1	1	事業費計			1,206		人役	2.0				
成果	+	70-	実績	0	2	1			国費									
			達成率		100.00%	100.00%			その他	1,014								
実施期間	初期	終期	事業の概要					人件費	13,612	13,532	12,100							
R元	R3		柑橘園でのドローン防除の課題抽出のため、利用拡大研修会及び実演フライトセミナーを開催し、ドローン防除農業の適用拡大を進める。															

7 サイモ大規模省力生産技術開発事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり		
指標種類1	指標名称1	単位	計画		0	4	7	事業費計	0	0	8,999	8,999	評価	ハイクリアランス仕様トラクターを使用することで、従来の歩行型管理機より作業時間を1/3に短縮できた他、ドローンを利用した新たな省力防除体系を実証することができた。				
成果	+	70-	実績		0				国費									
			達成率						その他									
指標種類2	指標名称2	単位	計画		10	10	10	事業費計	0	0	8,407	見直し方向性				方向1 このまま継続 方向2 方向3		
活動	+	70-	実績		23				国費									
			達成率		230.00%				その他								8,407	
指標種類3	指標名称3	単位	計画		2	4	6	事業費計					人役	1.5				
活動	+	70-	実績		2				国費									
			達成率		100.00%				その他									
実施期間	初期	終期	事業の概要					人件費			9,075							
R3	R5		水田輪作上、儲かる品目であるサイモを対象に、土入れや防除などの労力軽減を図るため、ハイクリアランス仕様トラクターやドローンを導入した高収益・高品質につながる技術を開発するとともに、非破壊で無人選別可能な技術や親芋を有効活用するための技術開発に取り組む。															

8 腎疾患対応低タンパク米開発事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R3)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり								
指標種類1	指標名称1	単位	計画	0	1	5	—	5	事業費計	8,930	8,945	8,945	0	評価	医学的な有用性が確認できなかったことから、栄養学的な観点から再度検討するとともに、低たんぱく米のバックご飯としての活用を目指す。									
成果 +	開発した新技術の数	件	実績	0	1	5		国費																
			達成率	—	100.00%	100.00%		その他																
指標種類2	指標名称2	単位	計画	0	50	40	—	40	事業費計	8,930	8,945	8,945	見直し方向性					方向1 統合 方向2 方向3						
活動 +	臨床試験の被験者数	人	実績	0	38	34		国費																
			達成率	—	76.00%	85.00%		その他																
指標種類3	指標名称3	単位	計画	16	16	16	—	16	事業費計	8,503	8,588	8,443									見直し方向性	方向1 統合 方向2 方向3		
活動 +	栽培試験の試験区数	区	実績	16	24	64		国費																
			達成率	100.00%	150.00%	400.00%		その他																
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	1.4	1.4	1.4	見直し方向性												
	R元	R3	ヒトが消化しやすいタンパク質(易消化タンパク質)を通常の1/2以下に低減した良食味水稲の、医学的有用性の評価や販売戦略の検討を行うとともに、品種特性を最大限に生かした生産技術及び易消化タンパク質含量の高速測定技術開発に取り組む。					人件費	9,529	9,473	8,470													

9 果樹園災害復興支援技術開発事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R3)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	4その他								
指標種類1	指標名称1	単位	計画	2	4	4	—	4	事業費計	6,476	6,325	5,625	0	評価	軽量培土を用いた早期成圃化のための技術開発、復興モデルとしての根域制限栽培の実証など、当初目標とした成果が達成できた。									
成果 +	成績書の課題数(試験課題数)	課題	実績	2	4	4		国費		2,734														
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他																
指標種類2	指標名称2	単位	計画	2	3	3	—	4	事業費計	6,476	3,591	5,625	見直し方向性					方向1 休止・廃止 方向2 方向3						
活動 +	園地復興支援技術検討会	回	実績	2	3	3		国費																
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他																
指標種類3	指標名称3	単位	計画						事業費計	6,234		5,284									見直し方向性	方向1 休止・廃止 方向2 方向3		
			実績					国費																
			達成率	—	—	—		その他																
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	0.8	0.8	0.8	見直し方向性												
	R元	R3	西日本豪雨被災園の早期成圃化技術、担い手不足に対応した省力化技術、さらに、今後の災害に強い園地改良技術等を開発し、日本一の柑橘産地の復興を技術面から支援することで、担い手の生産意欲向上や被災農家の所得向上を目指す。					人件費	5,445	5,413	4,840													

10 広域連携型農林水産研究開発事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり								
指標種類1	指標名称1	単位	計画	20	20	20	18	18	事業費計	138,008	137,864	117,864	0	評価	国等の提案公募型研究資金や企業等の委託資金を活用して、産学官の広域的な連携強化による先端技術等を活用した生産、流通、加工等の現場に密着した質の高い試験研究を実施しており、今後も事業の継続が必要である。									
成果 +	採択課題数	数	実績	9	9	6		国費	14,994	19,765	24,446													
			達成率	45.00%	45.00%	30.00%		その他	123,014	118,099	93,418													
指標種類2	指標名称2	単位	計画	23	20	26	24	24	事業費計	64,455	20,025	14,923	見直し方向性					方向1 このまま継続 方向2 方向3						
活動 +	試験研究課題数	数	実績	32	28	26		国費	858	442	447													
			達成率	139.13%	140.00%	100.00%		その他	63,597	19,583	14,476													
指標種類3	指標名称3	単位	計画						事業費計												見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3		
			実績					国費																
			達成率	—	—	—		その他																
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	16.6	16.6	16.6	見直し方向性												
	H16	予定・見込があれば記入	国等の提案公募型研究資金や企業等の委託資金を活用して、産学官の広域的な連携強化による先端技術等を活用した生産、流通、加工等の現場に密着した質の高い試験研究を推進する。					人件費	112,980	112,316	100,430													

11 林業普及指導事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい								
指標種類1	指標名称1	単位	計画	55000	55000	55000	55000	55000	事業費計	11,007	11,846	11,008	11,008	評価	森林・林業、木材産業を活性化させ、森林の持つ多面的機能を発揮させていくためには、地域林業を主体的に担っていく「人づくり」が基本となることから、地域に密着した活動を展開している林業普及指導事業は重要であり、今後も事業の継続が必要である。									
成果 +	林業普及指導員の巡回指導時間	時間	実績	74052	77135	75279		国費	3,802	4,188	3,770	3,770												
			達成率	134.64%	140.25%	136.87%		その他	4,038	4,038	4,038	4,038												
指標種類2	指標名称2	単位	計画	130	130	130	130	130	事業費計	3,167	3,620	3,200	3,200					見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3					
活動 +	研修受講者数	人	実績	152	87	80		国費	3,802	4,188	3,770													
			達成率	116.92%	66.92%	61.54%		その他	3,284	2,986	2,594													
指標種類3	指標名称3	単位	計画						事業費計	10,229	10,525	9,252	見直し方向性									方向1 このまま継続 方向2 方向3		
			実績					国費	3,802	4,188	3,770													
			達成率	—	—	—		その他	3,143	3,351	2,888													
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	22.5	22.5	23.0	見直し方向性												
	S25		林業技術の改善、林業経営の合理化、森林整備を促進し、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に資するため、林業普及指導員が森林所有者や県民等に接し、技術及び知識の普及と森林・林業・木材産業に関する指導等を行う。					人件費	153,135	152,235	139,150													









24 特別栽培農産物等認証事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	6	6	6	-	6	事業費計	2,222	2,865	2,891	0	評価								
活動	0	70-	審査会の開催回数	回	実績	6	6	6		国費	893	1,536	1,562											
					達成率	-	-	-		その他														
指標種類2	指標名称2			単位	計画	210	210	210	-	210	事業費計	1,619	2,003	2,164	見直し方向性									
成果	+	70-	出荷認証件数	件	実績	242	219	197		国費	738	958	1,096	方向1										統合
					達成率	115.24%	104.29%	93.81%		その他				方向2										
指標種類3	指標名称3			単位	計画					事業費計	881	1,045	1,068	方向3										
					実績					国費														
					達成率	-	-	-		その他														
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	1.2	1.2	1.2	みどりの食料システム戦略推進事業に統合										
	H15	予定・見込があれば記入	県内において生産される減化学合成農薬・減化学肥料栽培農産物の認証を行うことで、その品質と信頼性を確保し、もって県産農産物の生産振興及び流通の円滑化を図るとともに、環境保全型農業の推進に資する。							人件費	8,168	8,120	7,260											

25 普及活動促進費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり								
指標種類1	指標名称1			単位	計画	1201	1103	779	701	事業費計	36,843	32,188	33,310	33,596	評価											
成果	+	70-	農業者に対する講習会・研修会の開催回数	回	実績	1125	657	746		国費	9,698	9,698	9,698	9,698						見直し方向性						
					達成率	93.67%	59.56%	95.76%		その他	8,100	8,100	8,900	9,900											新型コロナウイルス感染症により、普及活動が制限される中、生産指導のみではなく、販売支援も求められており、効率的・効果的な普及指導活動に努めている。	
指標種類2	指標名称2			単位	計画	-	-	882	-	事業費計	33,117	27,931	30,427	方向1												このまま継続
成果	+	70-	普及指導員による個別指導農家数 ※隔年	戸	実績	-	-	756		国費	9,698	9,698	9,698	方向2												
					達成率	-	-	85.71%		その他	9,628	11,489	13,258	方向3												
指標種類3	指標名称3			単位	計画	87	87	86	89	事業費計	13,792	6,743	7,471													
活動	+	70-	普及指導計画数	件	実績	87	86	89		国費																
					達成率	100.00%	98.85%	103.49%		その他																
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.9	0.9	0.9													
	S38	予定・見込があれば記入	協同農業普及事業を推進するため、普及指導員の普及活動にかかる基本経費とその効率化、高度化を図る機動力等に要する経費である。							人件費	6,126	6,090	5,445													

26 農業情報高度利用推進事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい									
指標種類1	指標名称1			単位	計画	100000	100000	100000	100000	事業費計	1,541	1,541	1,445	1,445	評価												
成果	+	70-	ホームページアクセス数	回	実績	169108	7930	95850		国費	117	117	112	112						見直し方向性							
					達成率	169.11%	7.93%	95.85%		その他															品目ごとの栽培管理技術情報や台風等の気象災害発生が懸念される場合の技術対策情報を提供するほか、普及指導による現場の動きを伝える重要な手段となっている。		
指標種類2	指標名称2			単位	計画	500	500	300	300	事業費計	1,424	1,424	1,333	1,333												方向1	このまま継続
成果	+	70-	現地事例情報の発信数	事例数	実績	313	601	817		国費	117		112	方向2													
					達成率	62.60%	120.20%	272.33%		その他				方向3													
指標種類3	指標名称3			単位	計画	12	12	12	12	事業費計	664	0	768														
活動	0	70-	栽培技術のホームページ掲載数	回	実績	12	12	12		国費	117		112														
					達成率	-	-	-		その他	547		656														
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.8	0.8	0.8														
	S50	予定・見込があれば記入	生産者や生産指導者のニーズに対応できる情報の提供を行うため、普及現場や試験研究機関に必要な各種情報の収集・発信を行い、農業経営指導体制等の強化を図る。							人件費	5,445	5,413	4,840														

27 環境に優しい農業生産活動推進事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり								
指標種類1	指標名称1			単位	計画	7	7	7	7	事業費計	4,520	4,711	3,511	0	評価											
成果	-	70-	単位面積当たりの農業使用量	kg/10a	実績	7.6	5.9	5.3		国費	895	1,084	1,084	見直し方向性												
					達成率	92.11%	118.64%	132.08%		その他	1,747	1,747	547											化学農業の使用量は減少傾向にあるが、化学肥料の使用量は横ばいとなっている。引き続き講習会やエコえひめ認証制度、みどりの食料システム法の認定制度等を活用し、環境に優しい農業の推進を図り、化学農業及び化学肥料の低減を目指す。		
指標種類2	指標名称2			単位	計画	7	7	7	7	事業費計	1,878	1,880	1,880												方向1	統合
成果	-	70-	単位面積当たりの化学肥料使用量	kg/10a	実績	7.5	7.6	7.5		国費	895	898	743												方向2	
					達成率	93.33%	92.11%	93.33%		その他	1,669	1,523	457												方向3	
指標種類3	指標名称3			単位	計画	5	5	5	5	事業費計	3,811	2,421	2,543													
活動	+	70-	環境保全型農業技術講習会の開催回数	回	実績	7	10	8		国費																
					達成率	140.00%	200.00%	160.00%		その他	1,247		1,343													
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	4.0	4.0	4.0												みどりの食料システム戦略推進事業に統合	
	S46	予定・見込があれば記入	土づくりと一体的に行う化学肥料・農薬の節減技術等、導入すべき生産方式の確立と普及推進活動に一体的に取り組むとともに、硝酸性窒素の環境基準超過地区の改善等を実施し、環境保全型農業の面的な拡大を図る。							人件費	27,224	27,064	24,200													

28 優良種子生産体制強化事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり				
指標種類1	指標名称1	単位	計画	6	6	6	6	事業費計	2,175	2,181	2,186	2,186	評価	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり				
活動 + 70-	採種技術向上研修実施回数	回	実績	6	5	6	国費					採種技術向上研修会の開催、栽培指針の作成等により、種子生産農家の生産技術の向上を図り、優良種子の安定供給につながっている。								
			達成率	100.00%	83.33%	100.00%	その他	1,707	1,707	1,707	1,707									
指標種類2	指標名称2	単位	計画	500	500	500	500	事業費計	2,089	2,103	1,943									
活動 + 70-	種子生産ほ場審査数	枚	実績	498	460	448	国費					見直し方向性					方向1	このまま継続		
指標種類3	指標名称3	単位	計画	70	70	70	70	その他	1,621	1,707	1,671							方向2		
成果 + 70-	水稲・麦・大豆種子更新率	%	実績	75	71	70	達成率	107.14%	101.43%	100.00%	方向3									
実施期間	初期	終期	事業の概要																	
H10	予定・見込があれば記入		本県に適合する有望品種決定のための基礎的な調査の実施等、奨励品種種子の安定的な生産確保、優良種子生産対策等を強化する。																	
			人役	0.8	0.8	0.8	人件費	5,445	5,413	4,840										

29 病害虫発生予察活動費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	1成果向上余地が小さい				
指標種類1	指標名称1	単位	計画	7	7	7	7	事業費計	5,622	5,525	6,054	5,402	評価	4成果順調である	向上余地	1成果向上余地が小さい				
成果 - 70-	単位面積当たりの農業使用量	kg/10a	実績	8	6	5.3	達成率	87.50%	116.67%	132.08%		県民への病害虫防除に関する情報提供や指導資料としての予察情報等を積極的かつ的確に発表しており、農業の使用量についても適切な指導により計画を達成していることから、活動成果としては順調に推移しているものと考えられる。								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	12	12	12	12	国費	5,048	4,999	5,506						4,851			
活動 + 70-	病害虫発生予察情報等の発表	回	実績	19	23	18	達成率	158.33%	191.67%	150.00%	事業費計						4,750	4,681	4,102	
指標種類3	指標名称3	単位	計画					国費	4,401	4,380	3,865	見直し方向性					方向1	このまま継続		
			実績					その他										方向2		
			達成率	-	-	-	-	県費	349	301	237							方向3		
実施期間	初期	終期	事業の概要																	
S27	予定・見込があれば記入		農作物を害する病害虫の発生状況を把握し、的確な発生予察並びにこれに基づく、効率的かつ適正な防除を推進することによって、安定的な農業生産に資する。																	
			人役	4.5	4.5	4.5	人件費	30,627	30,447	27,225										

30 農業試験研究費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり				
指標種類1	指標名称1	単位	計画	3	3	3	3	事業費計	38,474	33,096	34,637	32,655	評価	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり				
成果 + 70-	農業試験研究費で行われた主要な研究成果数	件	実績	4	4	3	達成率	133.33%	133.33%	100.00%		今までに腎疾患対応米「媛育83号」の開発など、高機能性米の品種開発を行うほか、施設のイチゴ、トマトについて、複合環境制御と生育に係るデータ蓄積によりスマート農業化を図り、特色ある産地づくりを目指していることから一定の成果が期待できる。								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	150	150	150	150	国費	1,212	1,218	1,218						事業費計	32,580	25,908	29,810
活動 + 70-	農業試験研究費中の試験研究課題数	件	実績	160	159	152	達成率	106.67%	106.00%	101.33%	国費						1,002	1,029	836	
指標種類3	指標名称3	単位	計画					その他	27,952	23,734	27,608	見直し方向性					方向1	このまま継続		
			実績					県費	3,626	1,145	1,366							方向2		
			達成率	-	-	-	-	人役	10.6	10.6	10.7							方向3		
実施期間	初期	終期	事業の概要																	
S40	予定・見込があれば記入		愛媛県の農業振興のために、新品種の育成や栽培技術の開発等、必要な試験研究を実施する。																	
			人役	10.6	10.6	10.7	人件費	72,144	71,720	64,735										

31 果樹試験研究費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	1成果向上余地が小さい					
指標種類1	指標名称1	単位	計画	50	50	50	50	事業費計	47,038	37,665	39,230	37,956	評価	4成果順調である	向上余地	1成果向上余地が小さい					
成果 + 70-	新品種及び新技術開発数	項目	実績	40	55	57	達成率	80.00%	110.00%	114.00%		今までにキウイフルーツの液体受粉技術やオリジナル品種「紅まどんな」、「甘平」の高品質安定生産技術の開発など、地域特産に密接に関連した成果があがっている。今後の継続的な試験研究の実施により、成果向上余地はある。									
指標種類2	指標名称2	単位	計画	10	10	10	10	国費	329	460	942						事業費計	41,236	0	29,423	
成果 + 70-	現地試験中の有望系統数	個体	実績	10	10	11	達成率	100.00%	100.00%	110.00%	国費						272	646			
指標種類3	指標名称3	単位	計画	140	140	140	140	その他	35,440	25,933		見直し方向性					方向1	このまま継続			
			実績	153	151	180	達成率	109.29%	107.86%	128.57%	県費							5,524	2,844	方向2	
活動 + 70-	試験研究課題数	課題	実績	153	151	180	達成率	109.29%	107.86%	128.57%	人役							7.9	7.9	7.9	方向3
実施期間	初期	終期	事業の概要																		
S40	予定・見込があれば記入		本県果樹振興に係る、新品種の育成・高品質果実安定生産技術・軽労働・省力栽培技術・効率的な病害虫防除法・施設栽培技術など、果樹に関する多岐にわたる技術の開発等を行う。																		
			人役	7.9	7.9	7.9	人件費	53,768	53,452	47,795											

32 畜産試験研究費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり								
指標種類1	指標名称1	単位	計画	5	5	5	5	-	事業費計	23,435	31,960	12,435	24,995	評価 毎年度、成果を発表し技術の普及を図っており、事業の継続により新新規技術の確立が見込まれる。										
成果	0	70-	県畜産関係業績発表会における試験研究関連の発表課題数	課題	実績	5	4	5	予算	国費														
					達成率	-	-	-		その他	20,738	25,575	7,032					20,743						
					計画	4	6	5		5	5	5	5					5	5	5				
指標種類2	指標名称2	単位	計画	4	6	5	5	-	国費				見直し方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3											
活動	+	70-	試験実施課題数	課題	実績	4	6	5	決算	国費	22,045	24,977									8,328			
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他	19,350	18,592									3,215			
					計画	4	6	5		5	5	5									5	5	5	
指標種類3	指標名称3	単位	計画					-	国費												事業の概要 畜産研究センターにおいて経常的に行う試験研究に要する経費である。			
実施期間	S35	初期	終期	予定・見込があれば記入	実績				人役	5.4	8.1	5.2												
					達成率	-	-	-		人件費	36,753	54,805		31,460										
					計画																			

33 林業試験研究費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり								
指標種類1	指標名称1	単位	計画	3	3	2	2	-	事業費計	2,390	2,390	1,190	1,260	評価 初期生長に優れたエリートツリーの種子生産において、園外花粉抑制による性能低下防止に関し、簡易ビニールハウス等の効果は限定的であり、エリートツリーの防風垣設置により園内花粉濃度を高める手法が有効であることがわかり、採種マニュアルの改良を通じて優良種苗生産体制に貢献できた。										
成果	+	70-	開発した新技術の発表件数	件	実績	5	2	1	予算	国費	1,165	1,165	565					600						
					達成率	166.67%	66.67%	50.00%		その他														
					計画	3	3	2		2	2	2	2					2						
指標種類2	指標名称2	単位	計画	3	3	2	2	-	国費	1,225	1,225	625	660					見直し方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3						
活動	+	70-	試験研究課題数	課題	実績	3	3	2	決算	国費	2,389	2,370	1,190											
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他	1,165	1,165	565											
					計画	3	3	2		2	2	2	2									2		
指標種類3	指標名称3	単位	計画					-	国費				事業の概要 県民の森林と林業に対する多様な要請に応え、経済的機能と公益的機能を高度に両立させるためには、森林の持つ様々な機能の解明や、森林資源の持続的な循環利用のための研究・技術開発が必要である。											
実施期間	S27	初期	終期	予定・見込があれば記入	実績				人役	0.8	0.8	0.4												
					達成率	-	-	-		人件費	5,445	5,413		2,420										
					計画																			

34 水産試験研究費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり								
指標種類1	指標名称1	単位	計画	15	20	21	24	21	事業費計	23,051	34,613	35,612	37,450	評価 毎年度、成果を発表し技術の普及を図っており、事業の継続により新新規技術の確立が見込まれる。										
成果	+	70-	本事業で得られた知見・技術等の数	個	実績	15	20	21	予算	国費	24	25												
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他	11,795	19,998	24,310					24,855						
					計画	8	8	6		7	7	7	7					7						
指標種類2	指標名称2	単位	計画	8	8	6	7	-	国費	11,232	14,590	11,302	12,595					見直し方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3						
活動	+	70-	試験研究課題数	課題	実績	8	8	6	決算	国費	22,502	28,794	32,938											
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他	11,654	15,988	22,557											
					計画	8	8	6		7	7	7	7									7		
指標種類3	指標名称3	単位	計画					-	国費				事業の概要 水産研究センター(栽培資源研究所を含む)において、試験研究等を円滑に行うために必要な経費。											
実施期間	S39	初期	終期	予定・見込があれば記入	実績				人役	6.2	6.2	6.2												
					達成率	-	-	-		人件費	42,198	41,950		37,510										
					計画																			

35 プリ迅速育種技術開発試験費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり								
指標種類1	指標名称1	単位	計画			4	5	-	事業費計	0	0	2,632	2,296	評価 毎年度、成果を発表し技術の普及を図っており、事業の継続により新新規技術の確立が見込まれる。										
成果	+	70-	本事業で得られた知見・技術等の数	個	実績		4		予算	国費														
					達成率	-	-	100.00%			決算	国費												
					計画			3		3		3	3					3	3					
指標種類2	指標名称2	単位	計画			3	3	-	国費				2,632					2,296	見直し方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3					
成果	+	70-	試験研究課題数	個	実績		3		決算	国費	0	0	2,359											
					達成率	-	-	100.00%			人役												0.6	
					計画			3		3		3	3					3					3	
指標種類3	指標名称3	単位	計画					-	国費									事業の概要 親子鑑定技術を活用した迅速な優良家系の育種を行うとともに、人工種苗に適した養殖手法を確立することで、プリ養殖漁家の収益向上と経営安定化を図る。						
実施期間	R4	初期	終期	予定・見込があれば記入	実績				人件費				3,630											
					達成率	-	-	-																
					計画																			

36 アサリ資源回復技術高度化試験費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり	
指標種類1	指標名称1			単位	計画			3	4	事業費計	0	0	1,739	1,739	評価				
成果	+	70-	本事業で得られた知見・ 技術数の数	個	実績			3			国費						方向1	このまま継続	
					達成率	-	-	100.00%			その他					方向2			
指標種類2	指標名称2			単位	計画			3	4	事業費計	0	0	1,739	1,739			見直し 方向性		
活動	+	70-	試験研究課題数	個	実績			3			国費							方向3	
					達成率	-	-	100.00%			その他								
指標種類3	指標名称3			単位	計画					事業費計	0	0	1,665						
					実績						国費			1,665					
					達成率	-	-						その他						
実施 期間	初期	終期	事業の概要							人役			0.4						
	R4		他県では報告例のない被せ網(底網なし)と施肥を組み合わせた新手法を検討するとともに、干潟環境の改善など、資源回復に向けた技術の高度化を図る。							人件費			2,420						

37 高水温耐性ノリ作出技術開発試験費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり	
指標種類1	指標名称1			単位	計画			3	3	事業費計	0	0	3,478	3,416	評価				
成果	+	70-	本事業で得られた知見・ 技術数の数	個	実績			3			国費						方向1	このまま継続	
					達成率	-	-	100.00%			その他					方向2			
指標種類2	指標名称2			単位	計画			2	2	事業費計	0	0	3,201				見直し 方向性		
活動	+	70-	試験研究課題数	個	実績			2			国費							方向3	
					達成率	-	-	100.00%			その他								
指標種類3	指標名称3			単位	計画					事業費計	0	0	3,201						
					実績						国費			3,201					
					達成率	-	-						その他						
実施 期間	初期	終期	事業の概要							人役			0.4						
	R4		高水温耐性候補株について、養殖試験及び屋内培養試験を繰り返し、本県での養殖に適したオリジナル品種の作出を進める。							人件費			2,420						

38 低コストTMR飼料調製技術確立試験費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R5年度)	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり	
指標種類1	指標名称1			単位	計画			1	2	事業費計	0	0	12,437	12,437	評価				
成果	+	70-	TMR原料に利用可能と判定 した食品残さの品目数	種類	実績			1			国費						方向1	統合	
					達成率	-	-	100.00%			その他							方向2	
指標種類2	指標名称2			単位	計画			2	2	事業費計	0	0	11,928			見直し 方向性			
活動	+	70-	技術確立に向けて実施し た乳牛飼養試験の回数	回	実績			2			国費							方向3	
					達成率	-	-	100.00%			その他								
指標種類3	指標名称3			単位	計画					事業費計	0	0	12,086						
					実績						国費			12,086					
					達成率	-	-						その他						
実施 期間	初期	終期	事業の概要							人役			1.0						
	R3	R5	県内で発生する食品製造副産物等未利用資源のうち、飼料価値の高い素材を活用し、低コストかつ長期保存可能で利用性の高いTMR(完全混合型)飼料の発酵調製技術を確認し、本県酪農経営の収益向上及び資源循環型畜産の推進を図る。							人件費			6,050	R4年度より畜産試験研究費へ統合					

39 採卵鶏暑熱対策飼料給与と技術確立試験費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R5年度)	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり	
指標種類1	指標名称1			単位	計画			0	0	事業費計	0	0	8,016	8,154	評価				
成果	+	70-	暑熱対策に有効な油脂の 数	種類	実績			0			国費						方向1	統合	
					達成率	-	-					その他							方向2
指標種類2	指標名称2			単位	計画			10	10	事業費計	0	0	7,516			見直し 方向性			
活動	+	70-	暑熱ストレスの影響に関 する調査区数	区	実績			10			国費							方向3	
					達成率	-	-	100.00%			その他								
指標種類3	指標名称3			単位	計画					事業費計	0	0	5,446						
					実績						国費			5,446					
					達成率	-	-						その他						
実施 期間	初期	終期	事業の概要							人役			1.3						
	R3	R5	気候の温暖化が進展する中、汗腺が無く体温調節機能に劣る鶏(採卵鶏)の効果的な暑熱対策を講じるため、鶏体内での代謝効率に優れ暑熱ストレスの軽減に有効とされる油脂飼料に着目し、暑熱期における採卵鶏への効果的な油脂飼料給与と技術を開発する。							人件費			7,865	R4年度より畜産試験研究費へ統合					

40 有用水産資源増大技術開発試験費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり	
指標種類1	指標名称1			単位	計画	2	3	3	3	予算	事業費計	0	1,573	1,573	1,323	評価	3成果横ばい		
成果	+	70-	本事業で得られた知見・ 技術数の数	個	実績	2	3	3	国費										
					達成率	100.00%	100.00%		その他										
指標種類2	指標名称2			単位	計画	2	3	3	3	決算	事業費計	0	1,573	1,573	1,323	見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3		
活動	+	70-	試験研究課題数	課題	実績	2	3	3	国費										
					達成率	100.00%	100.00%		その他										
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役 人件費	事業費計		1,041	1,569					
					実績				国費										
					達成率	-	-		その他										
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人役		0.4	0.4						
R2	予定・見込 があれば記入		ガザミを指標として有用水産資源に対する流れ藻の影響を調査するとともに、天然素材を用いた人工流れ藻を試作し、これが流れ藻の代替となり得るか、その有効性を検証する。							人件費		2,707	2,420						

4-3 事務事業管理シート（新規事業）

予算施策名

ns07

農林水産新技術の開発・普及

1	かんきつ貯蔵病害防除技術確立試験費	コスト (単位：千円)	4年度
		事業費計	921
		予算	
		国費	460
		その他	
		県費	461

2	かんきつ日焼け症軽減技術確立試験費	コスト (単位：千円)	4年度
		事業費計	1,300
		予算	
		国費	
		その他	
		県費	1,300

3	かんきつせん定技術習得システム開発費	コスト (単位：千円)	4年度
		事業費計	2,100
		予算	
		国費	
		その他	
		県費	2,100

4	スマート農業技術開発・普及促進事業費	コスト (単位：千円)	4年度
		事業費計	17,700
		予算	
		国費	17,700
		その他	
		県費	

5	牛受精卵効率的生産技術確立試験費	コスト (単位：千円)	4年度
		事業費計	1,215
		予算	
		国費	
		その他	
		県費	1,215

6	新たな鶏卵品質保持技術開発試験費	コスト (単位：千円)	4年度
		事業費計	5,770
		予算	
		国費	
		その他	3,302
		県費	2,468

7	えひめ型酪農技術体系確立事業費	コスト (単位：千円)	4年度
		事業費計	3,000
		予算	
		国費	1,431
		その他	
		県費	1,569

8	低コスト県産養鶏飼料開発事業費	コスト (単位：千円)	4年度
		事業費計	2,400
		予算	
		国費	
		その他	2,400
		県費	

9	ICT活用魚病診断等支援システム構築事業費	コスト (単位：千円)	4年度
		事業費計	70,222
		国費	
		その他	70,222
		県費	
予算			

10	県産サーモン開発試験費	コスト (単位：千円)	4年度
		事業費計	3,110
		国費	
		その他	
		県費	3,110
予算			

11	真珠母貝仕立技術開発試験費	コスト (単位：千円)	4年度
		事業費計	2,001
		国費	
		その他	
		県費	2,001
予算			

12	スギエリートツリー特性調査試験費	コスト (単位：千円)	4年度
		事業費計	1,130
		国費	
		その他	
		県費	1,130
予算			

13	県産大径材利用拡大事業費	コスト (単位：千円)	4年度
		事業費計	3,574
		国費	
		その他	
		県費	3,574
予算			